



Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

日本語政策論

第10回

第3单元「複数性」から日本語教育の論点争点を考える①

複数のことは、複数の文化、複数の場を当たり前に見る世界
を座談会する

コメントスクリーンの用意もおねがいします。

日本語教育的に日本の今後を考えていく論点争点

論点

地域のボランティア日本語教室から

日本語教育を考える上での論点争点①

共同体の成員条件の緩和問題

コミュニティの成員条件問題

共同体の成員として、外国から来た人を「同じ〇〇人」と認めていくことは可能か？

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

コミュニティの言語規範問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は言語的厳密性か共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を緩和できるか？ 寛容になれるか？

日本語教育を考える上での論点争点③

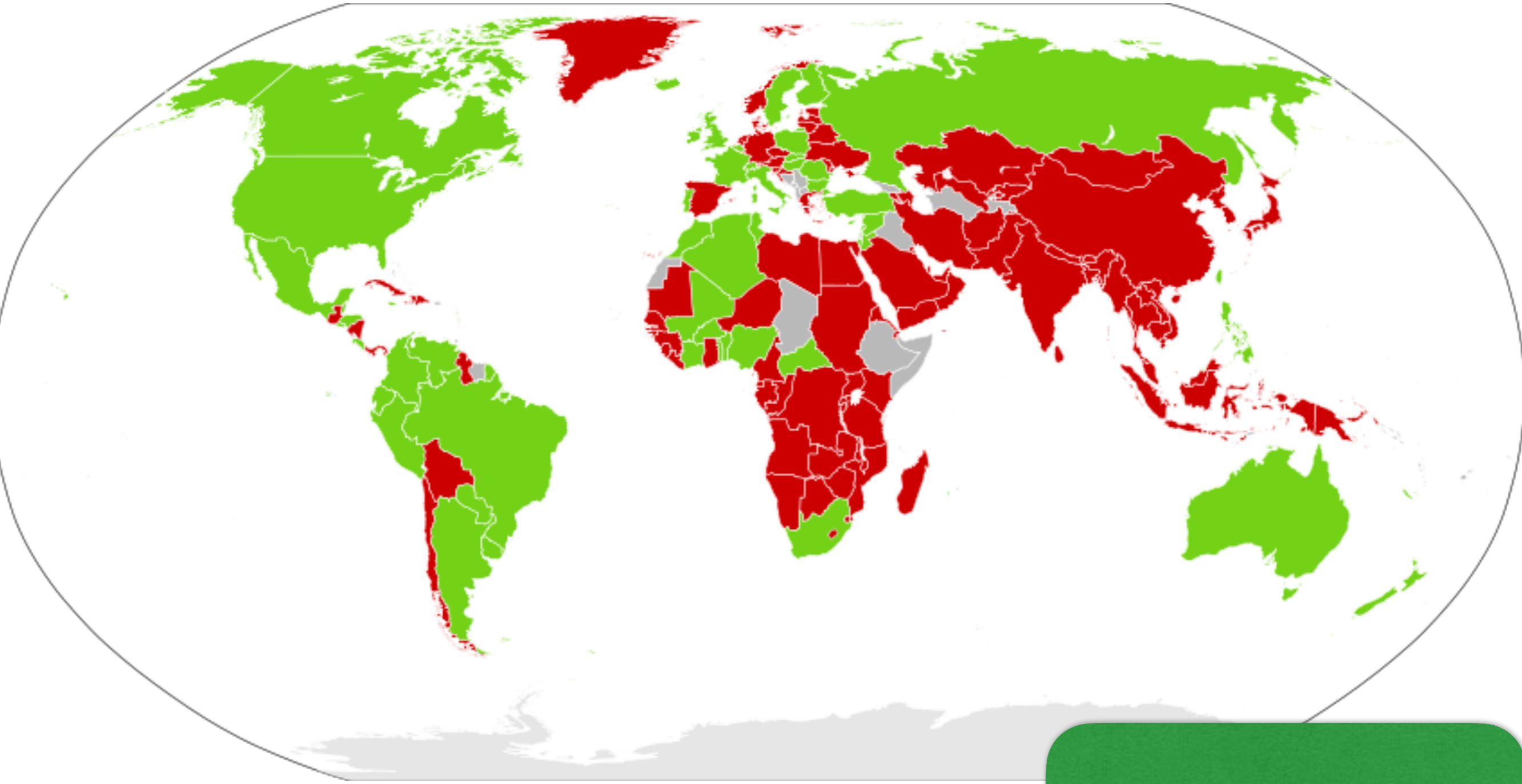
日本語教育を「語学モデル」から「教育モデル」として組み立て直す問題

教育問題

地域に暮らし社会に生きる生活者としての外国人（実は留学生も、技能実習生も、子どももみんなそれ）という前提に立ったとき、日本語教育は「語学」という思想ではうまくいかなくなっていく。

日本語の教え手はどのような立ち位置で、どのような形で、どのような言語教育をめざす必要があるのだろうか？

ここに集う多くの方は、「一つを持っていること」の前提の中で生きてきたことが多いが世界的に見るとそれは「多数派」でもない！



イギリス	1949	ベルギー	2010
フランス	1973	ハイチ	2011
カナダ	1976	ニジェール	2012

「二重国籍」を
認めている国

ここに集う多くの方は、「一つを持っていること」の前提の中で生きてきたことが多いが世界的に見るとそれは「多数派」でもない！

「さらにもう1つの発想」を考えていく



考える 「日本人である/ない」をあなたは何で分けてましたか?
 判断にすごく大事 ○ △ × 全然関係ない

1. 日本で生まれたこと
2. 日本国籍を持っていること
3. 人生のほとんどの時間を日本で過ごしていること
4. 日本語を話せること
5. 日本の伝統的な文化を大事にすること
6. 日本の政治制度や法を尊重していること
7. 日本人だと感じていること
8. 日本人の先祖がいること
9. 日本社会にみずから積極的に関わること
10. 日本国民であることに誇りをもっていること

日本とノルウェーを比較すると? 日本 「血統」を重視

項目	日本	ノルウェー
7 自己定義	79.2	11.9
10 誇り	79.9	12.1
9 社会参画	79.4	12.8
6 制度や法	77.8	12.1
5 伝統文化	74.8	12.1
2 国籍	74	11.2
4 言語	70.1	14
1 出生地	62.8	16.5
8 先祖	60.1	14

全般的に日本の学生たちは「一員であるための条件」が厳しい

項目	日本	ノルウェー
6 法や制度	84.6	3.32
4 言語	79	2.4
9 社会参画	74.1	11.6
10 誇り	64.9	10
2 国籍	53.2	13.9
7 自己定義	25.1	23.4
5 伝統文化	52.4	24
3 居住歴	41.9	27.1
1 出生地	22.8	42.2
8 先祖	12.8	61.3

ノルウェー 「法」を重視

そもそも「どれか1つを選べ」という発想の部分で日本は、日本語教育は越えていけるだろうか？

「複数のことば・複数の文化・複数の場所」

そんな世界観で生きることを探る座談会

星野ルネさん

カメルーン生まれ。母親の再婚と共に小学校の時に兵庫県に転校してきました。

『アフリカ少年が日本で育った結果』など、漫画家として活躍

シラちゃん・マヌーさん

吉本興業所属の芸人で国際夫婦漫才ユニット「フランポネ」をしています。シラちゃんはイタリア生まれのスイス育ち。そして今日本で日本語漫才と多言語漫才をしています。

堀佳月さん

千葉大学教職大学院2年生。日本で生まれた日本と中国のダブルです。学部時代、カナダに留学にも行き、来年からは中学校英語教師です。

澤田光穂子さん

小学校低学年で両親の仕事の関係でアメリカで過ごし、大学は日本の大学を卒業し、大学院をハワイ大学で終了して今に至ります。

	前半(30分)	後半(30分)
星野ルネさん	グループ1 司会・記録・対話	グループ2 司会・記録・対話
堀佳月さん	グループ2 司会・記録・対話	グループ3 司会・記録・対話
フランポネさん	グループ3 司会・記録・対話	グループ4 司会・記録・対話
澤田光穂子さん	グループ4 司会・記録・対話	グループ1 司会・記録・対話

◎自己紹介 (5分)

- a) 名前, 学年や専門に勉強していること, 生まれた場所や育った場所, はなせる言葉を紹介。
- b) アクセスしている場所が東京学芸大学から最も遠い人が1回目の司会→**その司会の人の画面上の左隣の人**が2回目の司会
- c) 誕生日が一番最近だった人が記録→**画面上の左隣の人が2回目の記録**
(こちら, wifiの調子が悪いなどで役目引き受けづらい…! のときは次点の人がにこやかに対応ませう)

①係を決める

司会者, 記録係, 積極的に質問をする係など

(うまくアクセスできないなどのためのために, 副司会なども)

*画面は基本的に開けましょう。相手とのやりとりをするときに随分違うと思います。

*「教師は自分の表情に責任を持つ! ^^」ノンバーバル, 大事です。

*うまくいかななくてOK. たどたどしい感じは対話で大事です。Zoomだとなおさら!

②記録係の人は, 記録を取る

◎最終的には, TEAMSにアップします。「2-20201228 第10回授業」の場所に, それぞれの話者のスレッドにアップロードしてください。今日聞けなかった人, 休んだ人, 落ちてしまった人のフォローです。

- ・メモを書いてコピーペーストしてもよし。
- ・ノートにグラフィックレコーディング(ちょっといい感じの視覚的なメモ)を写メしてアップでもよし。